

食道癌に対する 放射線治療

広島市立広島市民病院
放射線科

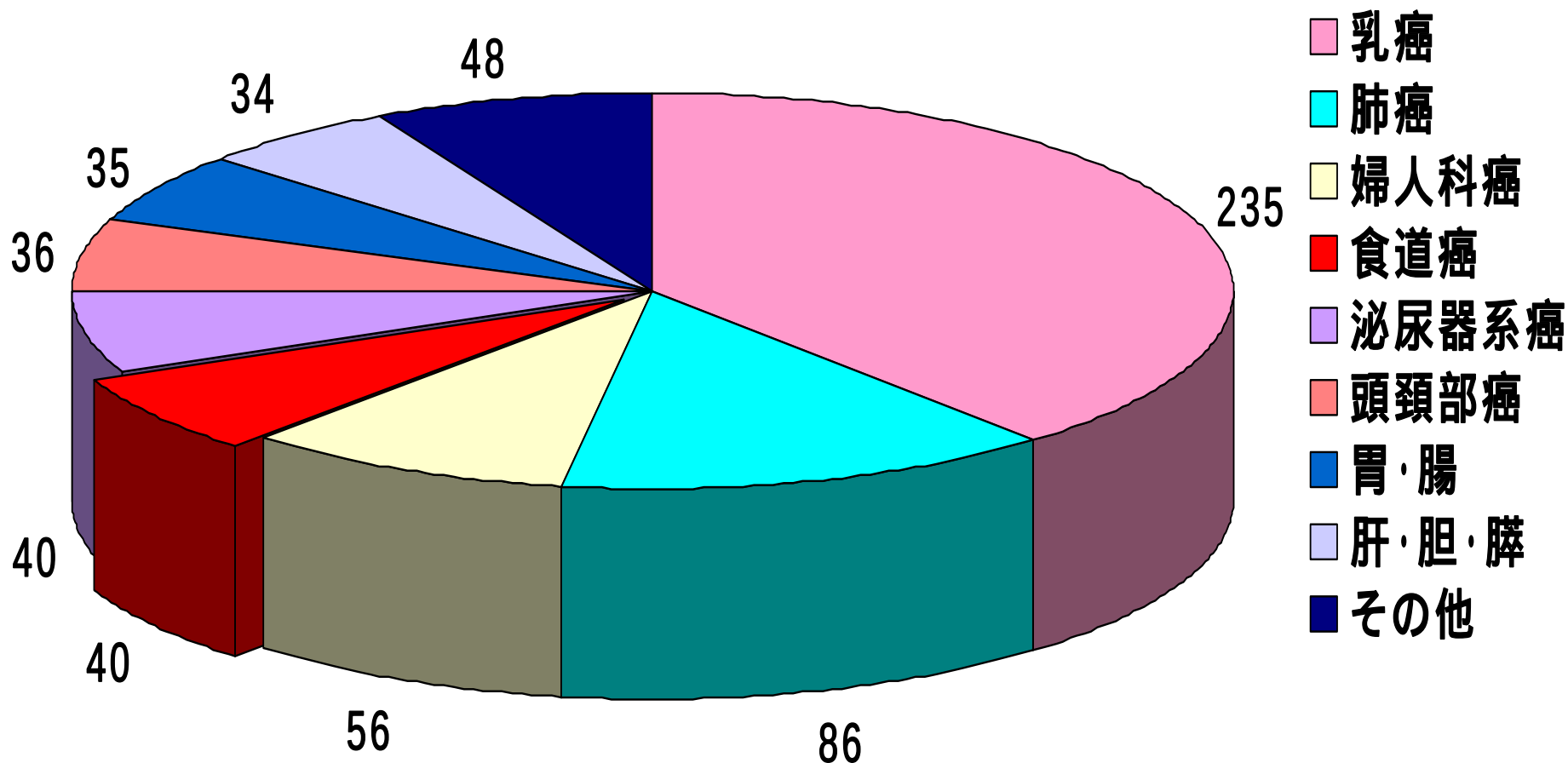
伊東 淳

はじめに

- 当院での治療内容
- 治療成績
- 考察
- 症例提示

2006年原発巣別新規患者数

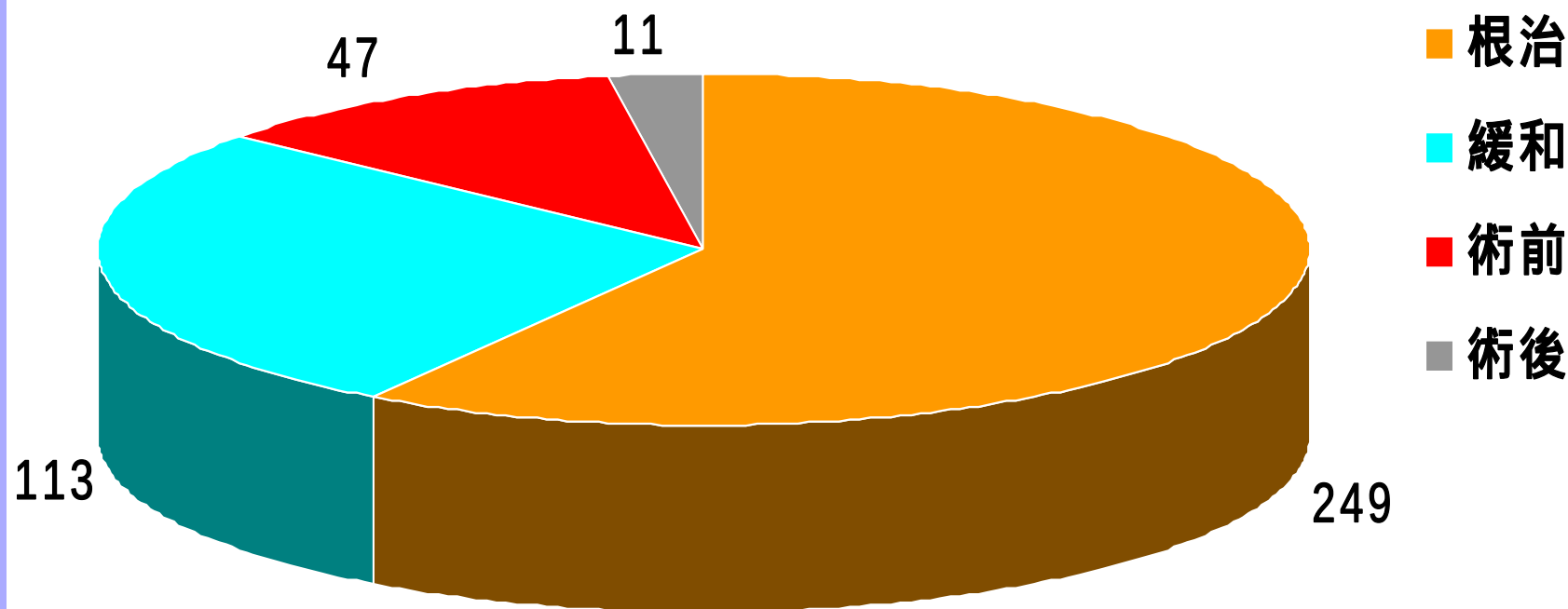
(2006.1.1 ~ 12.31 610例)



2006年根治目的食道癌症例: 15例

食道癌治療目的別

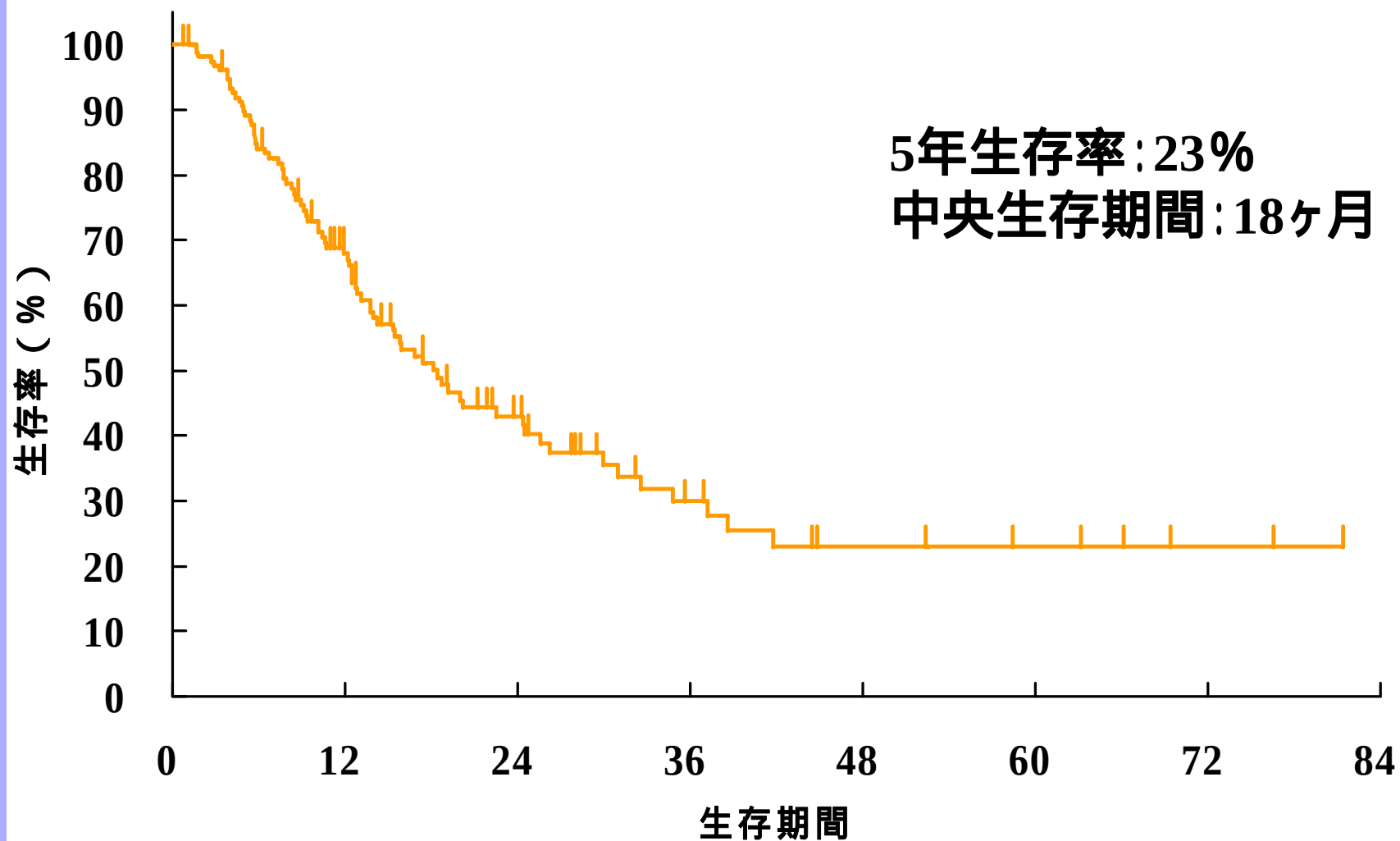
(1991.1 ~ 2007.7 422例)



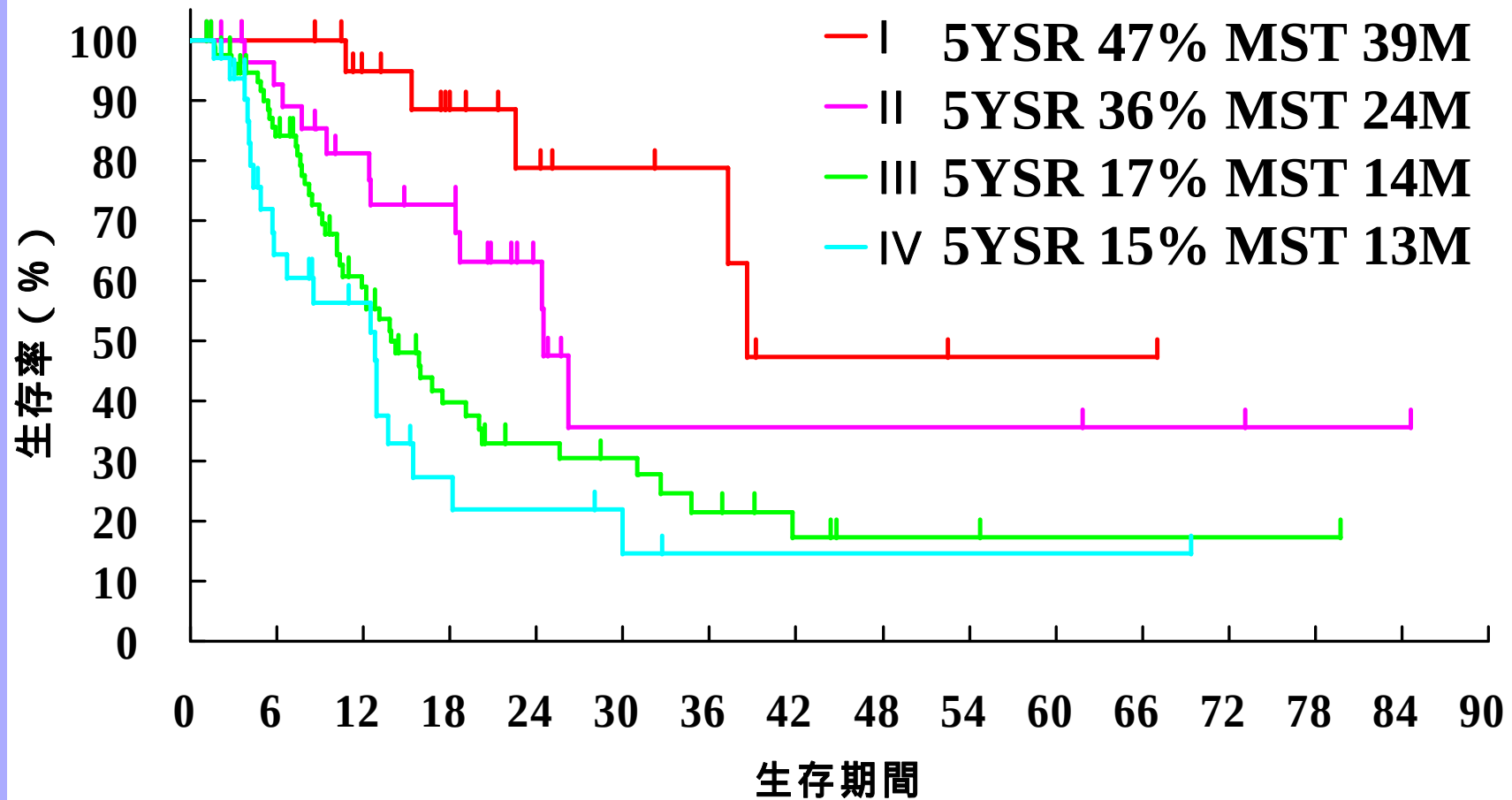
広島市民病院での 食道癌に対する放射線療法

- 1998.1 ~ 2007.7までの期間原発巣に50Gy以上放射線照射した症例169例を対象。
- 男性142:女性27。
- 年齢42 ~ 90歳、中央値69歳。
- 扁平上皮癌:162例、腺癌:4例、不明:3例。
- I期23例、II期32例、III期81例、IV期33例。
- 化学療法併用:83例
- 腔内照射併用:58例

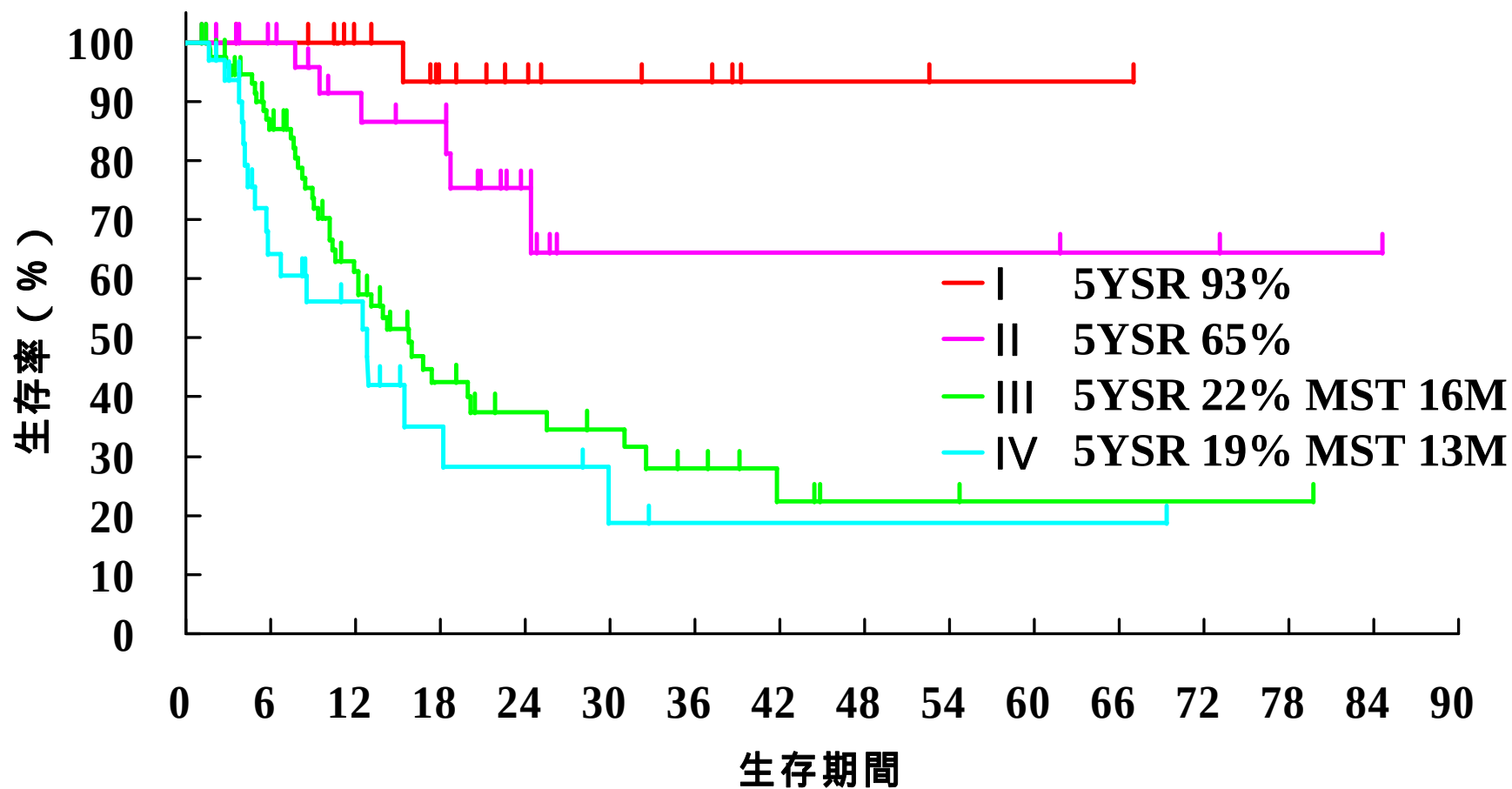
全生存率



進行期別粗生存率



原病生存率



考察

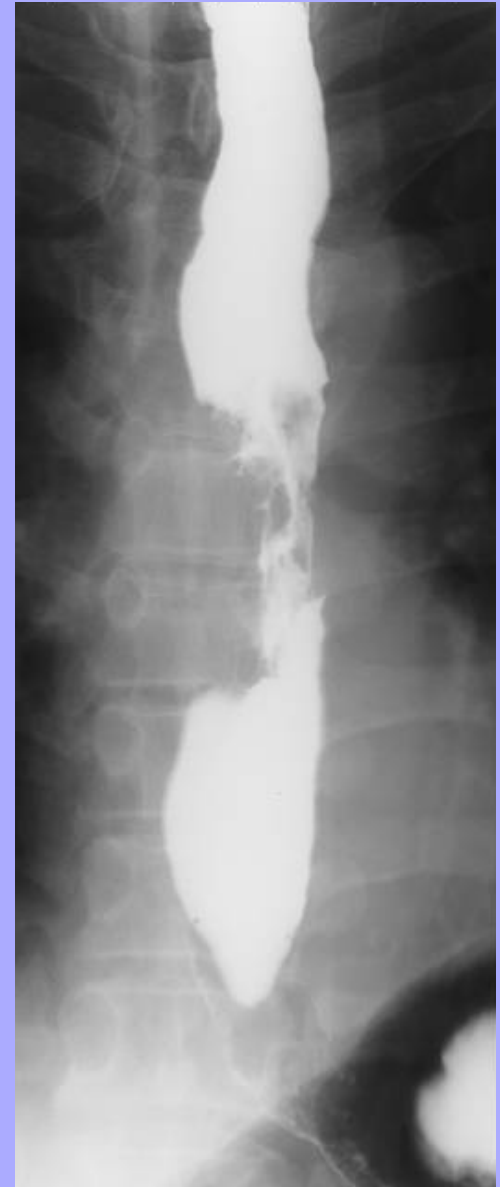
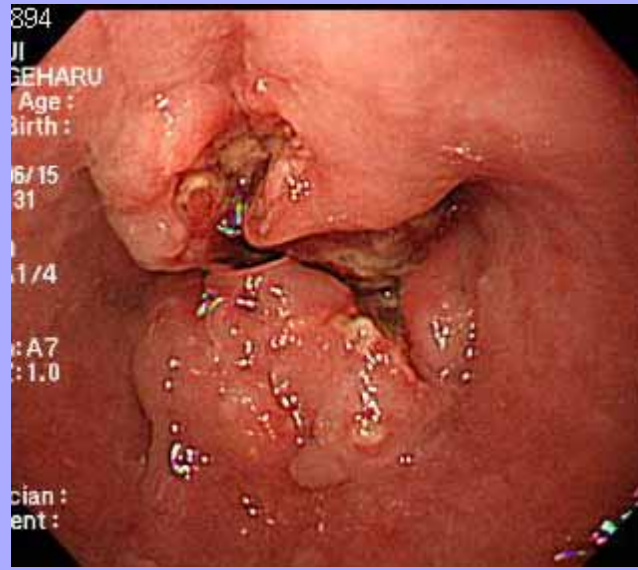
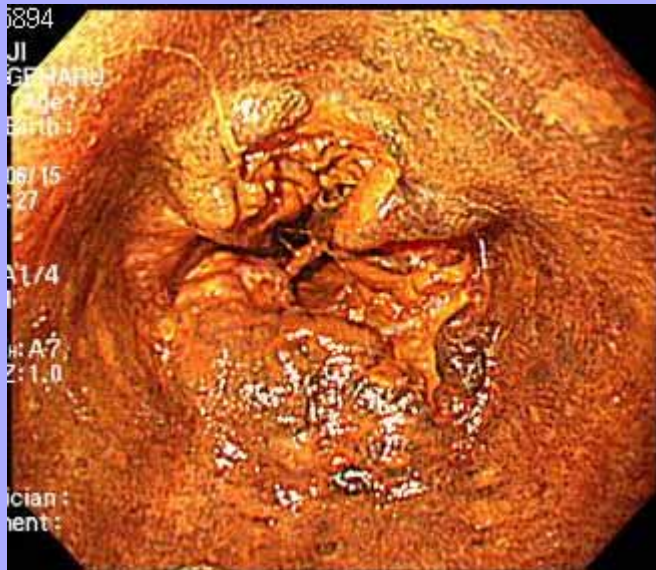
- 重複癌：40症例。
- 癌を含む内科的既往合併症：77症例。
- 他病死：16例。
- 化学療法は63例がプラチナ製剤+5FU。
- サルベージ手術症例：4例。
- 治療関連死が1例あり、間質性肺炎であった。

症例

- 55歳 男性
- 2006年5月頃より嚥下困難出現、近医にて食道癌指摘。
- 6月13日当科紹介。
- T4N1M0(UICC)の診断。
- 6月22日～8月7日 64Gy / 32回 / 47日
- 併用化学療法FP×2コース施行。
(CDDP100mg+5FU1000mg×4日間)

症例

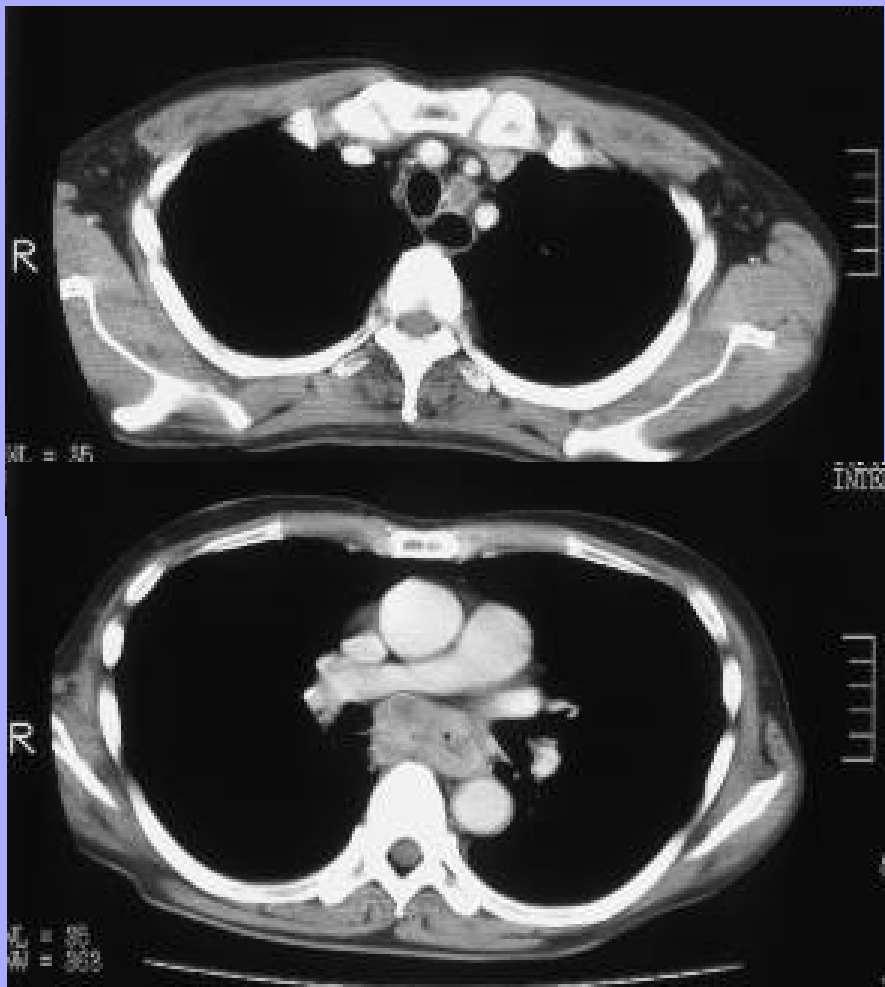
- 治療前



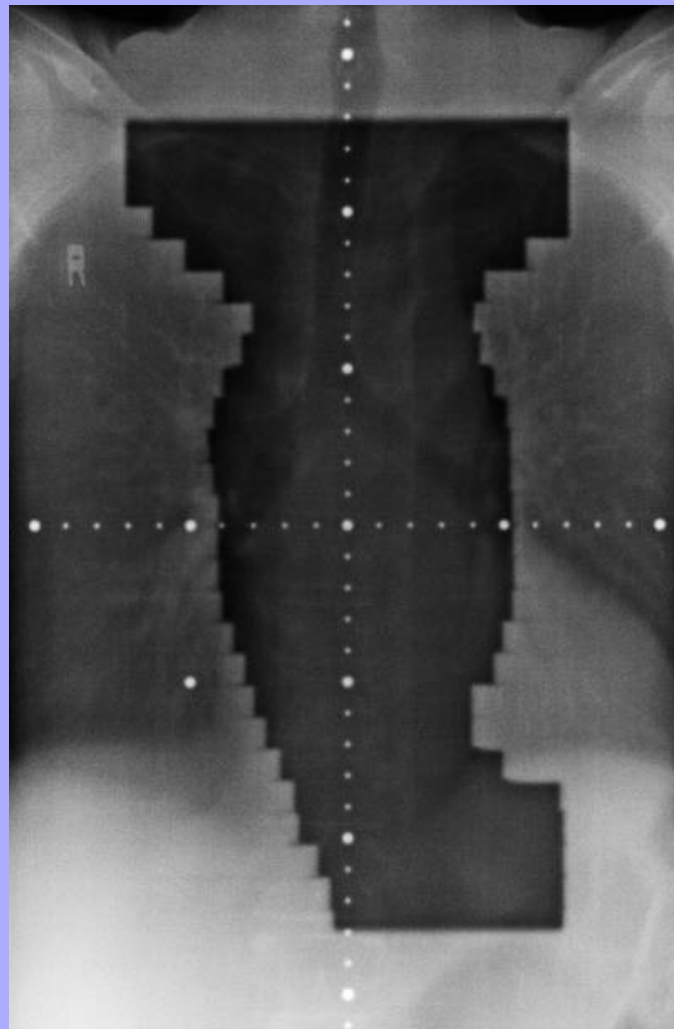
胸部中部食道に7.5cmにわたり2型の腫瘍を認める。

症例

- 治療前

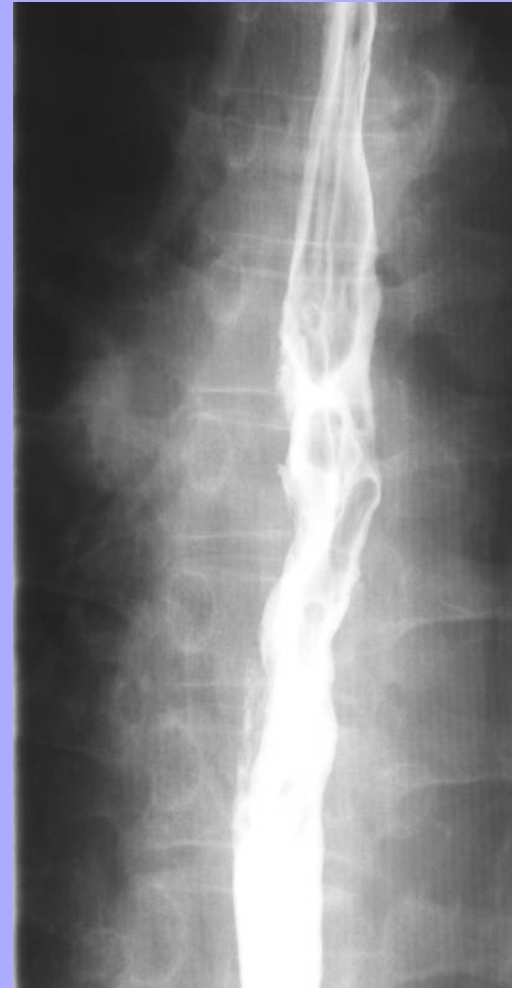


- 放射線治療



症例

- 治療終了直後



症例

- 治療終了後1年

